

会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成24年度第2回水谷地区公民館運営審議会会議録
開催日時	平成24年11月8日(木) 午後6時～8時
開催場所	水谷公民館・会議室
出席者	萩元不二夫委員 佐藤 和秀委員 是永 国彦委員 山本百合子委員 坂間 道夫館長 松田 武主査 南部 英司主任 加治あゆみ主任
会議次第	あいさつ 水谷公民館館長 地区公運審代表 萩元委員 議事＝協議事項 別紙のとおり
会議資料	
会 議 内 容	
<p>議事</p> <p>1. 協議事項</p> <p>(1) 平成24年水谷公民館上期事業報告について 担当職員が各事業報告</p> <p>委員：国際交流については、外国人の方へのPRも大切だが当初の趣旨を見直して、親子ふれあい事業としてすすめてもいいのではないかと。</p> <p>委員：はじめのいっぽ事業に力を入れている感じ。</p> <p>館長：サークル活動を支援したり、地域デビューする人を増やしていきたい。新しいサークルをつくりサークル活動を活性化させたい。</p> <p>委員：リーダーになる人がいて参加してくるしサークルもできる。男性は女性と違い腰が重い。奥さんにプッシュされて参加してくるようだ。</p>	

館長：事業評価については上期と下期に分けてお願いすることになる。

(2) 水谷公民館井戸端会議について

担当職員からこれまでの経過説明

館長：公民館運営企画委員会については、エリア設定も重要になる。南畑や水谷東を気にしないで水谷独自のもので良いと考えている。

職員：テーマはいろいろ考えられるが、地域の方から声があがっているのは3.11以降の防災問題である。

委員：防災の組織づくりとなると町会によって様々だが、町会のむずかしい問題について、公民館がそれをテーマにしてできるだろうか。

委員：福祉フォーラムでは勝瀬小とみずほ台小区をモデルとして地域をみて歩き、マップづくりをしている。

職員：防災の組織づくりをメインにするのではなくコミュニティづくりを根底においてすすめられないか。

委員：地域のつながりという面では、ヨコのつながりはいいがマンションの場合とずいぶん違う。新旧住民のカベも感じる。防災の問題もやりづらいのではないか。

委員：まちづくり講座として、針ヶ谷会場、水谷会場という形で講演会をやる方法もある。

委員：水谷東や南畑のほかにまちづくり協議会の動きはあるのか。

館長：市のほうで庁内まちづくり協議会検討委員会が行われている。公民館企画運営委員会とのすみわけが必要になる。井戸端会議については、地域の方たちともっと相談しながら進めたい。

(3) その他

・エレベーター工事の遅延について

館長：1か月遅れる可能性がでてきた。その場合、12月は講座室や会議室なども利用できることになる。追加利用については十分検討して利用者に周知してすすめたい。